## DRUG INFORMATION 2018 No.15

薬剤部 平成30年4月19日発行

# アドレナリンとα遮断作用のある抗精神病薬の 併用禁忌に関するオーダー時の対応について

α 遮断作用を有する抗精神病薬とアドレナリン製剤は併用禁忌となっておりましたがこの度、添付文書改訂が行われ、「アドレナリンをアナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く」旨が追記されることになりました。

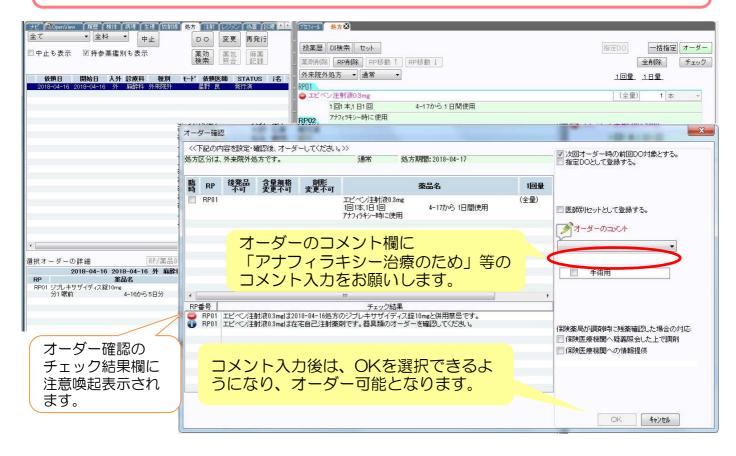
アドレナリン製剤をアナフィラキシー救急治療に使用する目的で両薬剤を併用できることとなりましたが、<u>オーダー時にはコメント欄に併用する理由が必要となります</u>ので、ご注意願います。

#### 【経緯】

α遮断作用のある抗精神病薬使用患者において、アナフィラキシー発現時の第一選択であるアドレナリン注射剤が添付文書において併用禁忌となっていることから、日本アレルギー学会より、添付文書の改訂が要望された。併用については、薬理学的に血圧低下が起こるおそれがあるものの、アナフィラキシーは致死的な状態であり迅速な救急処置が必要とされると判断され、「アドレナリンをアナフィラキシーの救急治療に使用する場合を除く」旨が添付文書に追記されることとなった。

### ~アドレナリンをアナフィラキシーの救急治療に使用する場合のオーダーについて~

▶ (例)ジプレキサザイディス錠処方あり → 同日にエピペン注射液0.3mg処方する場合 →注意喚起表示されます。また、オーダーを確定するためには、コメント入力が必要となります。



## 【アドレナリン製剤】

一般名	薬剤名
アドレナリン	アドレナリン注0.1%シリンジ「テルモ」(1mL) ボスミン注1mg、外用液0.1% エピペン注射液0.15mg、0.3mg

## 【α遮断作用のある抗精神病薬】

一般名	薬剤名
アセナピンマレイン酸塩	シクレスト舌下錠5mg・10mg
オランザピン	ジプレキサ錠2.5mg・5mg・10mg ジプレキサザイディス錠5mg・10mg
クエチアピンフマル酸塩	クエチアピン錠25mg「DSEP」・100mg「DSEP」 セロクエル25mg錠・100mg錠・200mg錠、細粒50% ビプレッソ徐放錠50mg・150mg
クロカプラミン塩酸塩水和物	クロフェクトン錠25mg、顆粒10%
クロルプロマジン塩酸塩	コントミン糖衣錠25mg、筋注10mg ウインタミン細粒(10%)
ゾテピン	ロドピン錠25mg、細粒10%
ハロペリドール	セレネース錠0.75mg・1mg・1.5mg・3mg、細粒1%、内服液0.2% セレネース注5mg ハロマンス注100mg
パリペリドン	インヴェガ錠3mg・6mg
プロクロルペラジン	ノバミン錠5mg、筋注5mg
プロペリシアジン	ニューレプチル錠5mg
ブロムペリドール	インプロメン錠1mg・3mg、細粒1%
ペルフェナジン	ピーゼットシー糖衣錠4mg
ペロスピロン塩酸塩水和物	ルーラン錠4mg・8mg・16mg
リスペリドン	リスペリドン細粒1%「ヨシトミ」、内用液1mg/mL「ヨシトミ」 リスパダールOD錠0.5mg、錠1mg・2mg、細粒1%、内用液1mg/mL リスパダールコンスタ筋注用25mg・37.5mg・50mg
レボメプロマジン塩酸塩	ヒルナミン錠(25mg)、筋注25mg レボトミン錠5mg、散10%
アリピプラゾール水和物	エビリファイOD錠3mg・12mg、錠6mg エビリファイ散1%、内用液0.1%、持続性水懸筋注用400mg
クロザピン	クロザリル錠25mg・100mg
ブロナンセリン	ロナセン錠4mg・8mg、散2%